

令和7年度 第9回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和7年11月20日（木） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

基盤整備部(道路建設課)

(2) JR長森駅周辺のまちづくりについて～イルミネーションの開催～

基盤整備部(道路建設課)

(3) 市LINE公式アカウントを活用した 「高齢者見守り通知サービス」の開始について

福祉部(高齢福祉課)

(4) 「岐阜市物価高騰支援事業20%還元キャンペーン」について

経済部(商工課)

1-(1) 長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

1 長良橋通り社会実験の説明

- ・ 今回の社会実験は、「“まち” も楽しい “みち” の未来」をテーマに実施
- ・ 名鉄岐阜駅前交差点から神田町10交差点までの約200m区間において、
24時間終日、一般車両通行禁止の規制、
人と公共交通中心のトランジットモール社会実験を実施
- ・ 名鉄岐阜駅とロフトの間に位置する北進一方通行の住ノ江町通りにおいて、
車両の通行を規制し、長住町通りへの進入を制限、
信号も休止することで、長住町通りの慢性的な渋滞解消に向けた検証も実施

2 社会実験の結果について

実験のコンセプト1:「交通結節点機能を有した道路空間の利活用」

- ・ 路線バスだけでなく、高速バスやタクシーも駅前のトランジットモール区間に集約
- ・ 東西の長住町通り沿いに、これまでは無かった臨時一般車乗降所を設置
交通結節点として駅前の乗り継ぎ利便性を向上させる環境を創出
- ・ 駅周辺を利用された方からは、
「公共交通が利用しやすかった」、「新しい・未来的」、「交通への関心が高まった」
など、7割以上の方が高評価
- ・ 「バスやタクシー等が駅前に集約され、便利だと感じた」、
「もともと駐停車ができない区間のため、一般車通行規制は問題ない」
「駅周辺に一般車乗降所があった方が良い」との声もあった
- ・ バス運転手からは、「安全かつスムーズな発着ができて良かった」、
「定時通りの運行ができた」など8割以上の運転手が良いと感じた
- ・ トランジットモール化による公共交通の利便性の向上や、
安全性と定時性の確保など、交通結節点機能の向上を確認

交通への影響検証

- ・ 一般車両が通行規制を回避したことで、長良橋通りの交通量は約25%減少
- ・ 周辺の金華橋通りや忠節橋通り、御鯨街道等の交通量が増加したものの、
幹線道路に渋滞の発生はなし
- ・ 長良橋通りの通行規制と併せて実施した長住町通りの信号休止により、
西進方向の通常時に最大80mあった慢性的な渋滞は、実験時にはほぼ解消
- ・ 御鯨街道の長住町1交差点の北進方向においては、住ノ江町通りの通行止めの影響
もあり、実験開始時には一時的に混雑
実験が進むにつれて渋滞長は大幅に減少し、混雑も緩和していく状況を確認

実験のコンセプト2:「バス待ち環境とくつろぎ環境の共存する空間利用」

バス待ち環境

- ・名鉄岐阜駅前の旧イクト前は、歩道に多くのバスを待つ方々が滞留しており、自転車や歩行者と交錯するリスクがあった
- ・社会実験では、両側車道1車線ずつを活用し、既存の歩道を広げることで、**安全で快適にバスを待つことができるバス待ち空間を創出**
- ・歩道やバス待ち空間を利用した方から
「自転車とぶつかる危険がなく、歩道が歩きやすくなった」、
「ゆったり椅子に座って、安心してバスを待てる空間が良かった」など、
9割以上の方が、安全で快適にバスを待てる空間に満足と回答
- ・「段差の解消や連続した屋根を設置して欲しい」といった声もあった
- ・バス運転手からは「バス待ちのお客様がわかりやすかった」、
「お客様が歩道にあふれている状況が改善された」、
「快適に待てる良い印象を受けた」など、**約8割の方が、バス待ち空間に満足**と回答
- ・一部の運転手からは、「2車線になったので狭く感じた」といった意見もあった
- ・今後の整備に向けた改善点があるものの、
バス利用者、バス運転手ともに安全で快適なバス待ち環境が好評

くつろぎ環境

- ・バス待ち空間の横に、ベンチやテーブル、植栽などを設置
ゆったりとバスを待つのはもちろん、**沿線店舗のテイクアウトを利用できるなど、くつろぎの場としても活用できる道路空間を創出**
- ・利用された方からは、「気軽に休憩できて良い」、
「周辺店舗のメニューが屋外でも楽しめて良かった」など、
約9割の方が空間に満足と回答
- ・ご協力いただいた沿線の飲食店舗からは、
「視界が広がり、快適になった」、「新しい取り組みはとても良い」など
好意的な意見が多く、全ての店舗から今後もこうした取組みに「参加したい」と回答
- ・利用者と沿線店舗の双方から、多様な使い方ができ、快適にくつろげる空間が好評

実験のコンセプト3:「沿線店舗等と連携したにぎわいを生み出す空間利用」

- ・名鉄岐阜駅前のタクシーロータリーを、一時的な**駅前広場「えきまえ よってこ広場」**として活用
- ・名古屋鉄道や岐阜市商店街振興組合連合会など、**37団体**もの皆様のご協力で、**様々なイベントを展開**

- ・ **平日**は、毎日気軽に立ち寄れる場所として、**日替わり出店や音楽演奏**を開催
- ・ **休日**は、**地域や学生によるパフォーマンス**や各団体との**コラボイベント**を実施
- ・ 利用者からは、「開放的で緑がある空間が心地良かった」、
「音楽ステージや日替わりの出店は広場に立寄るきっかけになり良かった」、
「新しい空間と感じた」、「賑わいが生まれていて良かった」など、
約9割の方が、駅前のにぎわい空間に満足と回答
- ・ 駅周辺の治安の悪化や喫煙、ごみ問題を懸念する声も一部いただき、今後配慮していく必要がある
- ・ **名鉄岐阜駅前においては、開放的な駅前広場でイベントを楽しめたり、
ゆったりと滞在できる新たな公共空間の必要性が確認できた**

長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

“街” “待ち”

“まち” も楽しい “みち” の未来

実施期間 9月27日(土) ⇨ 10月6日(月)

実施区間 名鉄岐阜駅前 約200m区間
名鉄岐阜駅前交差点～神田町10交差点

規制期間 9月23日(火) ⇨ 10月9日(木)
夜11:00から 朝 5:00まで

□ 検証内容

Concept 1 交通結節点機能を有した
道路空間の利活用

Concept 2 バス待ち環境 とくつろぎ環境の
共存する空間利用

Concept 3 沿線店舗等と連携した
にぎわいを生み出す空間利用



長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

Concept 1 交通結節点機能を有した
道路空間の利活用

一般車通行規制



バス停の集約化



臨時タクシー乗降所

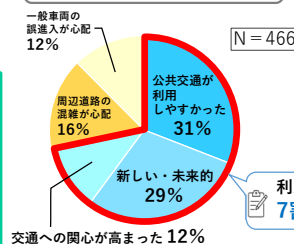


臨時一般車乗降所



利用者アンケート

社会実験をどう感じましたか？



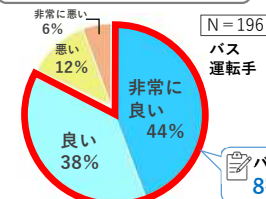
利用者の声

- ・バスやタクシー等が駅前に集約され
便利だと感じた
- ・もともと駐車できない区間のため、
一般車通行規制は問題ないと感じた
- ・駅周辺に
一般車乗降所があった方がよい

利用者の
7割以上が高評価

交通事業者アンケート

一般車の通行が規制され、
どのように感じましたか？



交通事業者の声

- ・一般車両がないので
安全かつスムーズに発着できて良かった
- ・長良橋通りの交通量が減ったため、
バスが定時通りの運行ができた
- ・タクシーの**降車専用スペース**もあるとよい

バス運転手の
8割以上が良いと感じた

公共交通の**利便性の向上**や**安全性と定時性の確保**など、
交通結節点機能の向上が確認できた

長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について



周辺交通への影響検証

断面交通量比較

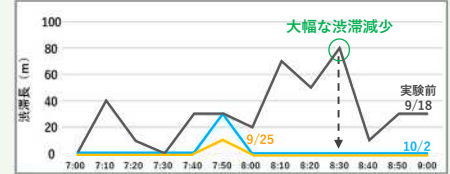
12時間調査 実験前：9月18日(木) 実験中：10月2日(木) (9日目)



長住町2交差点の信号休止による影響検証

長住町通り (西進方向)

平日朝7-9時

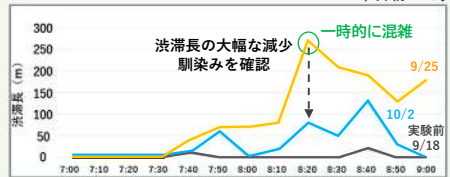


【長住町2交差点】

通常時に慢性的に発生していた渋滞がほぼ解消
交通の流れがスムーズになった

御館街道 (北進方向)

平日朝7-9時



【長住町1交差点】

住ノ江町通りの通行止の影響もあり、一時的に混雑したが、実験期間中に渋滞長が減少、混雑が緩和

長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

バス待ち環境とくつろぎ環境の共存する空間利用

バス待ち環境

車道を活用しバス待ち空間と快適な歩行環境の創出



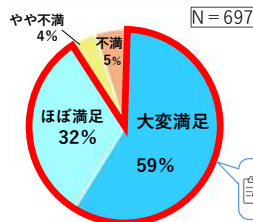
車道1車線を活用

歩道内のバス待ち列の滞留解消



利用者アンケート

歩行者等が交錯せず、安全で快適にバスが待てる空間についてどう感じましたか？



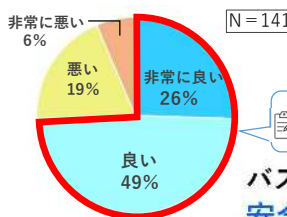
利用者の声

- ・自転車とぶつかる危険がなく、歩道が歩きやすくなった
- ・ゆったり椅子に座って、安心して待てる空間が良かった
- ・バス待ち空間内の車道と歩道間の段差をなくしてほしい
- ・連続した屋根を設置してほしい

利用者の9割以上が満足と回答

バス運転手アンケート

新たな広いバス待ち空間をどう感じましたか？



バス運転手の声

- ・バス待ちのお客様がわかりやすかった
- ・お客様が歩道にあふれている状況が改善
- ・ベンチもあり快適に待てる良い印象
- ・2車線になったので狭く感じた

バス運転手の約8割が満足と回答

バス利用者、バス運転手ともに安全で快適なバス待ち環境が好評

長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

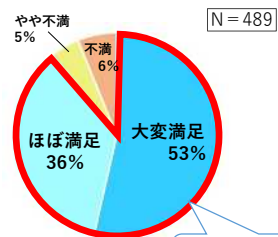
くつろぎ環境

ベンチや植栽等の配置でくつろぎ空間を創出



利用者アンケート

沿線店舗のテイクアウトを楽しめる空間についてどう感じましたか？



利用者の約9割が満足と回答

くつろぎ空間の活用事例

テイクアウトによる飲食 / 読書 / 談笑 など

利用者の声

- ・気軽に休憩できて良い
- ・屋外でも居酒屋のメニューを楽しめて良かった
- ・駅前、バス停の近くにあるため、乗換時間をあまり気にしなくて済む
- ・日陰がたくさんあるとなお良い

テイクアウト協力店舗向けアンケート

〈協力店舗 ※敬称略〉

- West
- ・三代目 鳥メロ
 - ・小さなお魚市場 こじろう丸
 - ・大衆酒場 ホームラン
 - ・肉汁餃子のダンダダン
- East
- ・コーヒースタンド キャロル

〈協力内容〉

- ・テイクアウトの実施
- ・モバイルオーダーの実施
- ・メニュー配置
- ・空間管理（清掃）
- ・アンケート回答

店舗の声

- ・視界が広がり、快適になった
- ・新しい取り組みはとても良い
- ・既存歩道上（店舗側）にも憩いの場があると、もっと楽しめそう
- ・時間が経つにつれ、利用者が増えていった印象

▶ 全店舗から「今後も参加したい」と回答

多様な使い方ができ、
快適にくつろげる空間が好評

長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

Concept 3 沿線店舗等と連携した
にぎわいを生み出す空間利用

名鉄岐阜駅前のタクシーロータリーを活用

平日 毎日気軽に立寄れる

日替わりの店舗出店・音楽ステージ

広場の日常的な利用



休日 特別なイベントを楽しめる

様々な団体と連携したイベント

太鼓演奏



書道パフォーマンス

久遠

コラポイイベント

よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

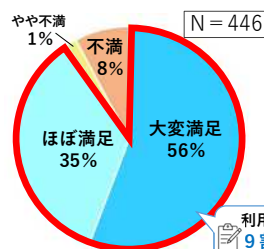
よってこステージ

よってこステージ

よってこステージ

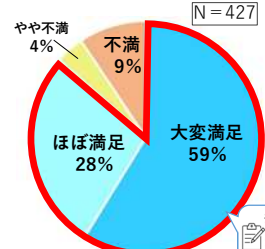
利用者アンケート

キッチンカーや店舗の
日替わり出店について



利用者の9割以上が満足と回答

音楽ステージの
実施について



利用者の約9割が満足と回答

利用者の声

- ・開放的で緑がある空間が心地良かった
- ・音楽ステージや日替わり出店は、立寄るきっかけになり良かった
- ・駅前の広場が新しい空間と感じ、賑わいが生まれて良かった
- ・夜の治安、喫煙、ポイ捨てなどのごみの問題が心配

開放的な駅前広場でイベントを楽しめたり、
ゆったりと滞在できる新たな公共空間の必要性を確認

長良橋通りトランジットモール社会実験の結果について

居心地が良く歩きたくなる
岐阜市のまちなか



今後の
展望

これまでの社会実験で得た結果を踏まえ、
名鉄岐阜駅の再整備と合わせ、官民の連携により
駅周辺の道路空間や公共空間を活用し、新しい時代のまちづくりに活かす

1-(2) J R長森駅周辺のまちづくりについて

～イルミネーションの開催～

1 J R長森駅北口交通広場の整備の概要

- ・ J R長森駅北口交通広場は昨年 4 月に利用開始
- ・ 長森駅は、岐阜駅まで 1 駅、5 分の好立地駅で、近隣の富田高校、岐阜東高校の生徒をはじめ、多くの方が利用
- ・ 駅のポテンシャルを活かし、広場を整備し、交通結節点機能を強化
- ・ 駅北口は、ロータリーを整備し、タクシーや一般車の乗降場を設け、収容台数 300 台の駐輪場を整備
- ・ 南口は、全面をアスファルト舗装し、歩行者や自転車、自動車の乗り継ぎの利便性を向上
- ・ 長森ふれあいバスと 373（みなみ）バスが、長森駅の整備に併せ、ルートを駅まで延伸し、駅の北口と南口に乗り入れ
- ・ 広場整備により、駅前の利便性、快適性、安全性が向上
- ・ J R長森駅の 1 日の平均利用者数は、令和 5 年度の約 1 5 3 0 人から令和 6 年度は約 1 6 8 0 人と、10%増加

2 トイレの整備について

- ・ 今年の 9 月に広場内のトイレが完成し、不便さも解消され、大変好評
- ・ トイレの特徴は次の通り
- ・ 男女別の個室を整備
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した多目的トイレを整備
- ・ 内部は、自然光を取り入れ、明るく安心できる空間
- ・ 外観デザインは、長森 4 自治会連合会と富田学園の学生の選定
- ・ 外壁に富田高校美術部の「絵」や岐阜東高校藝術書道部の「書」を装飾
- ・ 夜間は足元からの光でトイレを照らす

3 イルミネーションの開催について「輝く長森みんなのつどい」の概要

- ・ 「駅を中心としたまちづくり」の取り組みの一環として、長森 4 自治会連合会からなる「長森自治会連合会長会」が、昨年度から 2 回目となる「輝く長森みんなのつどい」と題したイルミネーションを実施
- ・ 今年度は 12 月 6 日（土）から 3 月 23 日（月）の 3 か月以上に期間を延長
- ・ 点灯時間は毎日日没から午後 10 時まで、J R長森駅北口交通広場で実施
- ・ イルミネーションは自治会連合会が主催し地域の小学校、中学校、高校も連携

- ・ 長森東小学校は、4年生3クラスの全児童約80名がランプシェードを制作
- ・ 長森南中学校は、生徒たちが点灯式の進行や受付、アテンドなどの運営を実施
- ・ 富田高校は、インターアクト部の部員約50名が、約300本のペットボトルでペットボトルツリーの制作及び設置
- ・ イルミネーション点灯式は、12月6日（土）の午後5時から開催
- ・ 式典では、点灯式、「富田高校美術部」や「岐阜東高校藝術書道部」へ感謝状の贈呈、市民音楽団体「B・B」による吹奏楽演奏を披露

J R長森駅周辺のまちづくりについて ～イルミネーションの開催～

JR長森駅北口交通広場 R6.4利用開始

JR長森駅の1日平均利用者数
R5年度 約1,530人 ⇒ R6年度 約1,680人
(+約150人増加)

約10%UP



コミバスの乗降場とルート延伸



収容台数300台の駐輪場



駅利用者の様子



南口の舗装整備も合わせて実施

駅前の利便性、快適性、安全性が向上

J R長森駅周辺のまちづくりについて ～イルミネーションの開催～

さらなる利便性の向上を目指し

トイレ R7.9完成

■整備内容

- ◆ 建物面積 A=約36m²
- ◆ 便器数
 - ・男性用 小便器:2 大便器:1 洗面:2
 - ・女性用 大便器:2 洗面:2
 - ・多目的トイレ 大便器:1 洗面:1
 - オストメイト、ユニバーサルシート、ベビーチェア

■特 徴

- ◆ ユニバーサルデザインに配慮した多目的トイレを完備
- ◆ 自然光を取り入れた明るく安心できる内部空間
- ◆ トイレデザインは、長森地区4自治会連合会および富田学園生徒が選定
- ◆ 外壁は、富田高校、岐阜東高校の生徒が作成した「絵」や「書」によって装飾
- ◆ 夜間ライトアップ(間接照明)

岐阜東高校藝術書道部 作品



夜間ライトアップ



トイレ全景

富田高校美術部 作品



女性用トイレ
パウダースペース



自然光の入る屋根



女性用トイレ入口



多目的トイレ内部



男性用トイレ内部

JR長森駅周辺のまちづくりについて ～イルミネーションの開催～

昨年度に続き
2回目

地域が進める「駅を中心としたまちづくり」の
取り組みの一環として

「輝く長森みんなのつどい2025」

イルミネーションの開催

期間延長

イルミネーション点灯期間

昨年度

今年度

1か月 ⇒ 3か月以上

実施
期間

12月6日(土)

令和8年3月23日(月)

日没から 22時まで

実施
場所

JR長森駅北口交通広場

岐阜市蔵前1丁目地内

主催

長森自治会連合会長会

長森北・長森西・長森東・長森南の4自治会連合会

R6年度の様子



JR長森駅周辺のまちづくりについて ～イルミネーションの開催～

地域全体で連携して
イルミネーションを開催

長森4自治会連合会主催

昨年度はランタン
を制作しました

長森東小学校4年生児童

ランプシェードの制作



ランプシェードイメージ

長森南中学校生徒

イルミネーション点灯式の
運営・進行



R6年度 式典の様子

昨年度は
吹奏楽部の演奏で
盛り上げました

富田高校インターアクト部

ペットボトルツリーの制作及び設置



ペットボトル
ツリーイメージ

J R長森駅周辺のまちづくりについて ～イルミネーションの開催～

イルミネーション点灯式

日時 12月6日(土) 17時～17時30分

- 内容 イルミネーション点灯式
感謝状贈呈（富田高校美術部と岐阜東高校藝術書道部）
市民団体による演奏



今後も、**官民が連携**して**長森地区のまちづくり**に取り組む

1-(3) 市LINE公式アカウントを活用した 「高齢者見守り通知サービス」の開始について

1 背景

(本市のひとり暮らし高齢者の現状)

- ・ 少子高齢化や核家族化などにより、ひとり暮らしの高齢者世帯が増加

(これまでの見守りサービス)

【地域住民による見守り事業】

- ・ 「ひとり暮らし高齢者届」の登録を促し、地域の民生委員や地域包括支援センターが連携した定期的な見守り
- ・ 高齢者が集う「ふれあい・いきいきサロン」をはじめ、老人クラブの活動や地域行事など住民との交流を通じた見守り

【事業者の協力を得た見守り事業】

- ・ 郵便や新聞配達等の際、高齢者宅の異変を発見した場合に、市に連絡する「高齢者見守りネットワーク事業」
- ・ 高齢者の皆様に弁当配達を行う事業者の協力を得て実施する「配食による安否確認事業」

【機器を活用した見守り事業】

- ・ 持病のある高齢者を対象に、通報装置を設置する「緊急通報体制支援事業」
- ・ 人の動きを感知するセンサー等を設置する、「安否確認サービス事業」

市LINE公式アカウントを活用した「高齢者見守り通知サービス」の開始

■市内の高齢者単身世帯数



■様々なニーズに応じ見守り事業を展開

地域住民による見守り



機器を活用したサービス



事業者の協力を得た見守り



2 新サービスの概要

(1) 導入

- ・ひとり暮らしの高齢者などを対象とした「見守り通知サービス」を導入。
- ・ひとり暮らしの高齢者など「見守られる人」と、家族など「見守る人」の間で、安否を確認できるサービス

(2) 見守りの流れ

- ・「見守られる人」と「見守る人」が互いに
市LINE公式アカウントを友だち追加の上、利用登録を行う
- ・ひとり暮らしの高齢者などの「見守られる人」は、
 - ・市（LINE）から毎日、決まった時間に届く、
「お元気ですか？」というメッセージに「はい」を押して回答する
(配信時間 7時、9時、11時の3パターンからの選択制)
- ・ご家族などの「見守る人」は、
 - ・LINEのメニューから見守られる人の回答状況を確認できるほか、
 - ・もし、1日以上回答がない場合は、
アラート通知がメッセージとして届き、状況を把握すること可能
(通知時間 12時30分)

(3) 利用開始

- ・サービス開始：12月1日（月曜日）予定
- ・利用の手順は、市ホームページに掲載
- ・高齢福祉課の窓口や、市内19か所の地域包括支援センターなどにて案内



1-(4) 「岐阜市物価高騰支援事業 20%還元キャンペーン」について

●事業趣旨

「岐阜市物価高騰支援事業 20%還元キャンペーン」と銘打ち、
キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業 第6弾 を実施する。

予算規模 4.2 億円 (R7 年度補正予算)

●事業目的

- ▶ 厳しい経営環境に苦しむ**中小事業者、個人事業主**への支援
- ▶ 物価高などで家計を圧迫されている**生活者**への支援
- ▶ DX推進を踏まえた経済対策

実施期間	令和7年11月26日(水)から12月25日(木)までの1か月間
対象店舗	資本金5千万円以下の中小事業者、個人事業主
店舗確認方法	対象店舗の店頭ポスター 各決済サービスのアプリにて確認可能
決済サービス	「au PAY」、「d払い」、「PayPay」、「楽天ペイ」
還元率	最大20% 1回の利用で最大「1,000円相当」 期間中最大「3,000円相当」 を付与
対象者	誰でもご利用可能
その他	スマートフォンや当該アプリの操作方法を案内する 「スマホ教室」を各キャッシュレス決済事業者が実施